

# 「今を生きる」

(校長便り R3年度 NO.1)

## 校長式辞 (1学期始業式)

皆さん、おはようございます。いよいよ令和3年度のスタートです。今、どんな気持ちでこのスタートラインに立っていますか？

本日午後には新入生を迎えます。生野高校の先輩として胸を張って新入生を迎えることができるよう、今一度気持ちを新たに新学期に臨んでほしいと思います。

先日、車に乗っているときにラジオから心に残る言葉が流れてきました。

「夢をかなえる前に やってみるという事をかなえろ」

という言葉です。何気ない言葉ですが、その言葉を聞いて私自身なるほどなと思いました。私も含めてですが、私たちはよく夢を思い描いたり、夢を語ったりしますが、果たしてその夢を叶えるためにどれだけのことを実践し、行動に移しているのでしょうか。頭ではあれこれ考えても、案外何もせずにいるのではないのでしょうか。それが現実ではないのでしょうか。

そもそも皆さんにとって“夢”とは何ですか。もちろん、人それぞれいろいろな夢がありますが、私たちの夢というのは、突き詰めれば、自分はどんな生き方をしたいのかということになると思います。それでは、自分が思い描く生き方をするために、皆さん自身が今やるべきことは何ですか。そのことを今一度しっかりと考えてみましょう。

人間というのは弱い存在でもあり、やらない理由やできない言い訳はいくらでも探すことはできますが、結局、実行に移さなければ自分の人生の可能性はどんどん狭めていくことになっていきます。

まず一步を踏み出すことが大切です。考えるのはその後でもいいんじゃないでしょうか。また、結果として直接夢とは関係なくても、行動することで必ず夢の実現に近づくはずですよ。

女子ソフトボール日本代表監督だった宇津木妙子さんは、次のような言葉を残しています。

「人生に夢があるのではなく、夢が人生をつくる」

また、ソフトバンク社長の孫正義さんも、次のような言葉を残しています。

「自分の持った夢に自分の人生はおおむね比例する」

自分自身の夢についてしっかりと向き合い、そして行動を起こすことができる、そんな1年にしましょう。

これで、1学期始業式の挨拶を終わります。

令和3年4月8日

兵庫県立生野高等学校長 福田 孝善